



ネットワーク機能編

H.264 ハイグレードデジタルビデオレコーダー
[NS-7040R/7080R/7160R]

目次

目次

ネットワークアクセスについて

利用規約-----	P1-2
ネットワークアクセスの設定について	
はじめに-----	P3
ローカル接続-----	P4
ローカル接続の設定方法-----	P5-P7
グローバル接続-----	P8
グローバル接続の設定方法-----	P9-P12
DDNSサービスについて-----	P13

クライアントソフトの操作について

クライアントソフトの	
インストール-----	P14
画面説明-----	P15-P16
リモート検索/再生-----	P17-P18
バックアップデータの	
検索と保存-----	P19-P20
遠隔ログ/	
システム情報-----	P21
リモート設定-----	P22-P23
イベント-----	P24
録画設定-----	P25-P26
システム設定-----	P27-P29
ローカル設定-----	P30
プリセット操作-----	P31-P32
設定メモ/備考-----	P33

ネットワーク機能及びDDNSサービス利用規約

ご利用頂くにあたり、以下の規約をお読み頂き、同意の上ご利用下さい。

第1条 本規約の適用範囲

本規約は、本機器のネットワーク機能利用者に適用されます。

第2条 本サービス

本サービスはローカル／ワイドエリアネットワーク [LAN/WAN] 等を利用して、本機器への遠隔アクセスができることをいいます。

本サービスを利用するには主に下記の方法があります。

- ・ ローカルワイドエリア [LAN] のみ利用可能なネットワーク構築
- ・ 固定IPサービスを利用したネットワーク構築
- ・ 当社DDNSサービスを利用したネットワーク構築

ただし、本サービスの動作を完全に保証するものではありません。

第3条 利用に関して

利用者が本サービスの利用にあたっては本規約を遵守する責務が発生します。

第4条 禁止事項

本サービスの利用にあたって以下の行為は禁止いたします。

他の利用者、第三者、当社、もしくは当社のプライバシー、著作権その他の権利を侵害し、または侵害する恐れのある行為

公序良俗に反する行為、またはその恐れのある行為

犯罪行為、または犯罪行為の恐れがある行為

虚偽の情報による利用

転売や有料による斡旋など営利目的、またはその恐れがある行為

前項その他、当社が不適切と判断する行為

第5条 当社DDNSサービスの中止及び中断

当社は以下の事項に該当する場合には事前の通知することなく、本サービスを中止または中断することができるものとします。

この場合、本サービスの中止または中断において利用者に発生した損害についてはいかなる場合においても、当社は一切の責任を負わないものとします。

当社が行う定期または緊急のメンテナンスが行われた場合

本サービスの機器設備の保守などやむをえない事由が生じた場合

火災、洪水、交通機関の運行の停止や遅延、電気通信の障害や遅延が生じた場合

ウイルスの配布やクラッキングが行われた場合

戦争、暴動、内戦等が発生したとき、または通商を禁止する措置がとられた場合

非常事態が発生または発生するおそれがある場合

当社が本サービスの運用を停止することが望ましいと判断した場合

本DDNSサービスは、未来永劫的に継続を保証するものではありません。

やむをえない事情により本サービスの継続をできなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

第6条 免責事項

利用者が本サービスを利用することにより、利用者ならびに利用者以外の第三者に迷惑または損害を与えた場合には、利用者は自己の責任と負担において当該第三者との紛争を解決するものとし、いかなる場合においても、当社は一切の責任を負わないものとします。

また、不正侵入等により情報が漏洩した場合にも一切の責任を負わないものとします。

付則

このサービス利用規約は、2009年9月1日に作定し、即日実施します。

また、本規約内容は事前に通告することなく変更できるものとします。

ネットワークアクセス（設定について）

ネットワークアクセスについて

本機器のネットワーク機能を利用しインターネットやローカルエリアネットワークを経由することで、ネットワーク上のパソコンからライブ・再生・バックアップ等を行うことができます。

－はじめに－

この説明書では、ネットワークを経由してDVRにアクセスすることを
”ネットワークアクセス” と表記します。

本機器で利用可能なネットワークアクセスには2種類のネットワーク構築方法があります。

■ ローカル接続

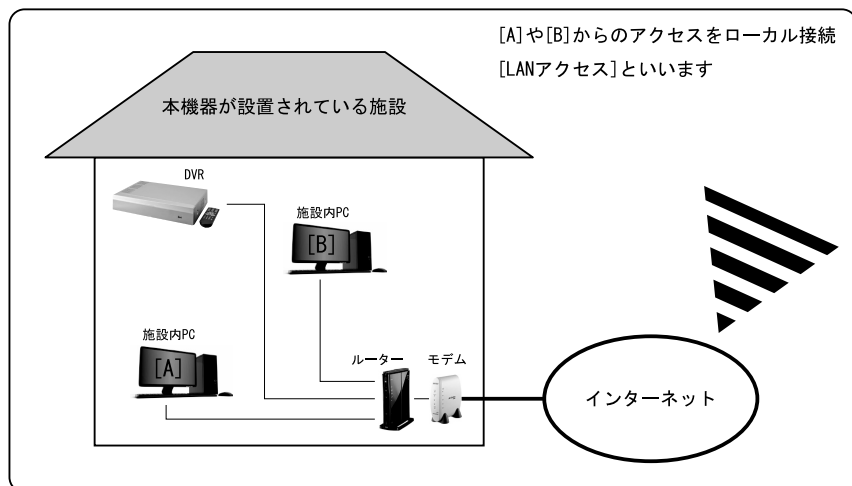
■ グローバル接続

”ネットワークアクセス” は本機器の他にブロードバンド・ルーターやインターネット環境等が必要になります。

ご利用者の環境に応じて必要なものを記載しておりますので、環境に合った設定を行ってください。

-ローカル接続-

本機器を設置した施設内のみのネットワークアクセス
(インターネットを経由しない)



必要な機器や環境について

- パソコン ※最低動作環境をご確認ください
- ブロードバンドルーター ※IPアドレス変換[NAPT/IPマスカレード]に要対応
- DVR (デジタルビデオレコーダー)
- LANケーブル

パソコンに必要な最低動作環境

OS	WindowsXP/Vista/7 (Mac非対応)
CPU	Pentium4プロセッサ1.7GHz以上
メモリ	XP: 1GB～ Vista/7: 2GB～
グラフィックメモリ	64MB～
HDD	1GB～ (バックアップする場合はそれに応じた容量)
ブラウザ	Internet Explorer6.0以降

-ローカル接続の設定方法-

ローカル接続とは、LAN環境下でのみのネットワークアクセスを行うことを指します。この場合、LAN環境下にあるパソコンであれば本機器にアクセスし目的の操作を行うことが可能になります。

ローカル接続の設定方法は様々ですが、この説明書では一般的な方法による設定手順を説明していきます。

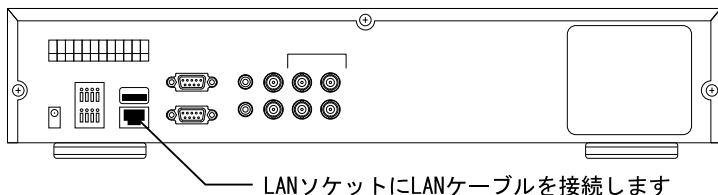
設定作業の際は、ご使用のブロードバンドルーター（以下ルーター）の説明書も合わせてご用意ください。



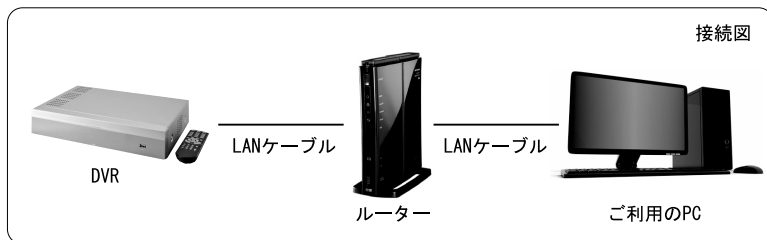
この設定には、ルーターの設定変更が必要になります
詳細についてはご利用中のルーター製造元へご確認ください

操作手順

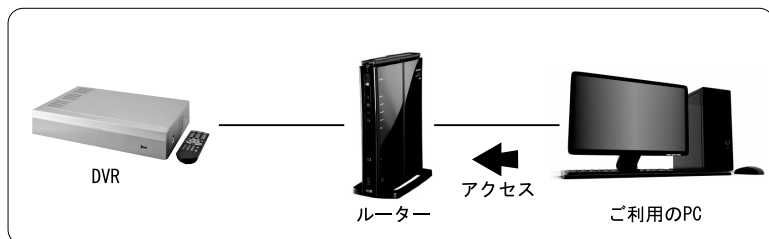
1. 本機器背面のLANソケットにLANケーブルを接続しルーターと接続します



2. ルーターとご利用中のパソコンをLANケーブルで接続します



3. パソコンからご利用のルーターへアクセスして、“ポートフォワーディング”設定を行います。



! ルーターへのアクセス・設定方法については、
ご利用のルーターの取扱説明書をご覧ください。

4. 次に本機器の設定を行います。

メニュー>ネットワーク>IP設定を開きIPアドレスを設定します。

ルーターに設定した値を入力



ルーターに設定したポート番号を入力

- ※ IPやポート番号は任意の値を割り当てます
ポート番号はウェルノウンポート以外を推奨します（0～1023以外）

5. 付属のCD-ROM（クライアントソフト）をご利用のパソコンへインストールして、本機器へアクセスします。

※ これ以降の手順については、“クライアントソフトの操作について”（P15～）を参考に進めてください。

 **本機器をご利用の施設においてネットワーク管理者が存在する場合、管理者の指示に従って設定を行ってください。**



ネットワーク管理者の方へ

本機器において“ローカル接続”に必要なルーター設定は主に下記の通りです。

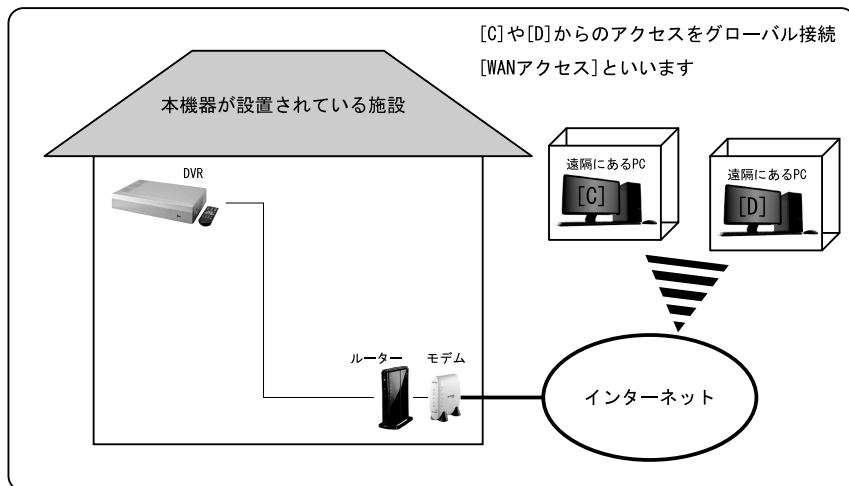
”本機器に対するIPアドレスの割り当て”

”本機器に割り当てたIPに対するポート指定”

ご利用中のネットワーク環境は様々です、必要に応じた機器設定を行ってください。

-グローバル接続-

インターネットを経由して本機器へネットワークアクセス



必要な機器や環境について

- パソコン ※最低動作環境をご確認ください
- ブロードバンドルーター ※IPアドレス変換 [NAPT/IPマスカレード] に要対応
- DVR (デジタルビデオレコーダー)
- LANケーブル
- DVRやご利用のパソコンにおけるインターネット環境
※ブロードバンド推奨 (光回線など高速で大容量通信が可能な環境が必要)
- ”固定IPアドレス” や ”DDNS” サービスの利用
※詳細はご契約中のインターネットサービスプロバイダ (ISP) までお問合わせください

パソコンに必要な最低動作環境

OS	WindowsXP/Vista/7 (Mac非対応)
CPU	Pentium4プロセッサ1.7GHz以上
メモリ	XP: 1GB~ Vista/7: 2GB~
グラフィックメモリ	64MB~
HDD	1GB~ (バックアップする場合はそれに応じた容量)
ブラウザ	Internet Explorer6.0以降

ーグローバル接続の設定方法ー

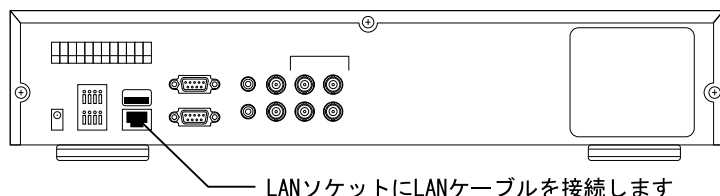
グローバル接続とは、遠隔地のパソコンからインターネットを経由して本機器にネットワークアクセスを行うことを指します。基本的にインターネットに接続可能なパソコンであれば、本機器にアクセスし目的の操作を行うことが可能です。この設定には、LAN環境下にあるパソコンからルーターの設定変更の作業が必要になりますので、ご利用中のルーターの説明書も合わせてご用意ください。また、グローバル接続には”固定IP”や”DDNS”サービスのご利用が必要です。

❗ この設定には、ルーターの設定変更が必要になります
詳細についてはご利用中のルーター製造元へご確認ください

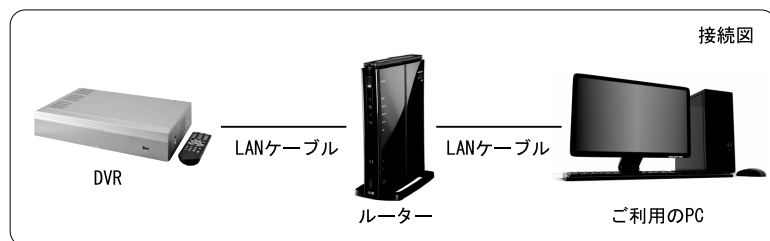
❗ ”固定IP”サービスについては、現在ご契約中のインターネットサービスプロバイダ（ISP）までご確認ください

操作手順

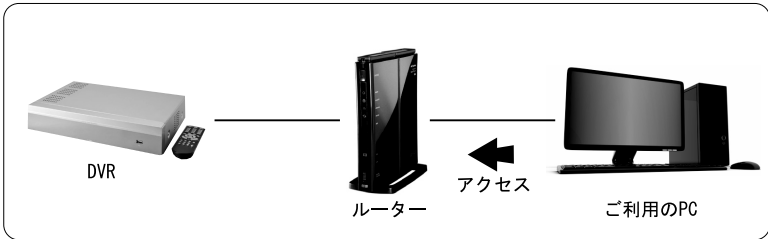
1. 本機器背面のLANソケットにLANケーブルを接続しルーターと接続します



2. ルーターとご利用中のパソコンをLANケーブルで接続します



3. LAN環境下のパソコンからご利用のルーターへアクセスして、“固定IP” や “DDNS” などのルーター設定を行います。



※ここからは弊社が提供している“DDNSサービス”(DDNS-DVR.COM) もしくは “固定IP” の利用を想定した設定方法について説明していきます

4. ルーターに “ポートフォワーディング” 設定を行います。
アドレス変換 (IPマスカレード設定/NAPT) は以下を参考に設定してください。

変換対象 プロトコル	WAN側 アドレス	変換対象 ポート	宛先 アドレス	宛先 ポート
TCP	固定IP または DDNSドメイン	本機器に指定 するポート ※	※ 本機器の IPアドレス	本機器のポート 初期設定時 DVRポート：2000 ウェブポート：80

※ ウェルノウンポート以外のポート番号を推奨 (0～1023以外)

※ IPアドレスは任意

! 設定方法はご利用中のルーター取扱説明書やISPから
提供される情報を参照の上行ってください

5. 次に本機器の設定を行います。

メニュー>ネットワーク>IP設定を開きIPアドレスを設定します。

ルーターに設定した値を入力



ルーターに設定したポート番号を入力

“DVRポート” —— クライアントソフトからアクセスする際のポート

“ウェブポート” —— スマートフォンからアクセスする際のポート

6. 次にメニュー>ネットワーク>DDNSを開きDDNS設定を行います。



“DDNS-DVR.COM (Auto)” を選択し、DDNSステータスチェックを実行

7. "DDNSステータスチェック成功" の確認ができれば、ドメインを控えて設定を保存します。

- DDNSドメイン -

*****.ddns-dvr.com

画面に表示されている部分「ドメイン」

※ご希望のドメインを登録することができます。
登録に関しては"DDNS-DVR.COM" サイト（英語）にてご確認ください。

8. インターネットを経由して本機器へアクセスします。

- (a) 付属のCD-ROM（クライアントソフト）をご利用のパソコンへインストールして本機器へアクセス。

※ これ以降の手順については、"クライアントソフトの操作について"（P15～）を参考に進めてください

- (b) iPhone（スマートフォン）の "Safari"（ブラウザ）を開き本機器へアクセス。



URL入力欄に控えておいたDDNSドメインを入力

*****.ddns-dvr.com:ポート/mobile

DDNSドメインの後に必ず入力してください

本機器に設定している "ID" と "Password" を入力し
"Login" ボタンを押します

初期設定時：ID「admin」 Password「00000000」



以上の手順で “グローバル接続” 設定は完了です。



本機器をご利用の施設においてネットワーク管理者が存在する場合、管理者の指示に従って設定を行ってください



弊社が提供するDDNSサービスについて

DVRのネットワーク機能を利用するには、固定IP利用料金などのランニングコストが必要になることが一般的です。

弊社では、“ランニングコストが不要なネットワーク機能の利用”を実現するためにDDNS専用サーバーを設置し、無償にて “DDNSサービス”を提供しております。

下記の内容を良くご理解の上、本サービスをご利用ください。

- ・ 一般にインターネット接続を切断、再接続する度に新しいIPアドレスが付与されてしまうケースがほとんどです。
これに対し、接続ごとにDNSレコードを更新することで一意のホスト名を常時接続環境を利用するネットワーク機器に対して付与するサービスが“DDNSサービス”です。
- ・ 本サービスはサーバーメンテナンスなど弊社都合により一時的に予告なく中断する場合がございます。従って、常時遠隔監視などを目的に利用される場合は、“固定IP”の取得を推奨致します。
- ・ 長期間にわたる遠隔監視が続く場合、大容量の上り回線使用によりご契約中の通信会社から回線使用の制限が行われる場合がございます。
- ・ 本サービスはインターネットを利用して防犯カメラの映像を遠隔監視するものです。安定した運用にはブロードバンド環境（高速かつ大容量の通信が可能な環境）が必要です。（ADSLではなく光回線などを推奨）

クライアントソフトダウンロード

付属のクライアントソフトをPCにダウンロードして、ネットワークに接続するとPC上でDVRの操作を行うことができます。

PCに付属の「クライアントソフト」
CDを入れ、起動させます。

①画面が表示されたら、「NEXT>」
をクリックして、②画面へ移動します。

②画面ではソフトの保存先を指定します。②
この場所にバックアップファイルや、
セーブ画像が保存されます。
指定したら「NEXT>」をクリックします。
※初期設定：「C:\H264」

③画面では、クライアントソフトの
表示名称を指定できます。
※初期設定：「H264」

④画面で「NEXT>」をクリックして、
ダウンロードを実行してください。

⑤画面で「Finish>」をクリックすると、
インストールが完了します。

デスクトップ上に「H264」のショートカット
アイコンが表示されますので、
アイコンからクライアントソフトを起動して
ください。

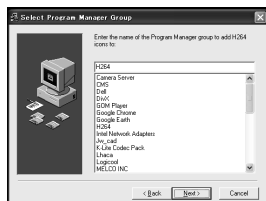
①



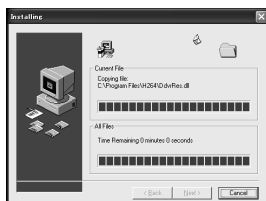
②



③



④



⑤



クライアントソフト

クライアントソフトによる遠隔モニタリング

本録画機をインターネットに接続すると、お手持ちのPC上で操作できます。
また、インターネット接続ができる環境であれば、遠隔地でのモニタリング、
バックアップファイルを作成し操作中のPC上に保存などの操作も行うことができます。

まずはネットワークに接続し、PC上でクライアントソフトを起動してください。
設定したIPアドレス等を正しく入力すると、ライブ映像が表示されます。

※操作はマウス、キーボードで行ってください。

TOP画面表示

IPアドレス/ドメイン名

設定した数値を入力

ポートナンバー

設定したポートを入力

使用者ID

パスワード

初期設定：ID「admin」

パスワード「00000000」ゼロ×8個

IPアドレス/ドメイン名
ポートナンバー
使用者ID
パスワード



フル画面表示



PCモニター上に、ライブ映像をフル画面（モニター全体に）表示します。

通常の表示へはキーボード上の「Esc」ボタンで戻ります。



セーブ



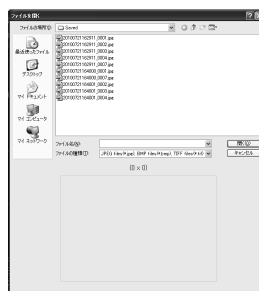
ライブ中の画面を、静止画で保存します。
ライブ映像表示中に、画面右のセーブボタンをクリックすると、その瞬間の表示が静止画で保存されます。

セーブ映像は、接続しているカメラの台数分（使用チャンネル分）保存されます。
カメラを4台接続している場合、静止画は単画面表示で4枚（4チャンネル分）保存されます。

※保存データの拡張子は、PCの設定に反映されます。
「JPEG/TIF/BMP」などで保存されます。

ファイル名は保存時の
「西暦年月日秒__*チャンネル映像」となります。

例：「20100201163129__0003」
2010年2月1日16時31分29秒の3チャンネル映像
「C:\¥H264¥SAVE」内に保存されます。



ロード



「画面セーブ」で保存した
静止画をモニターに表示します。

保存先のフォルダから選択すると、
右図のように表示されます。
画面下部の数字は保存時間です。



リモート検索/再生

DVRとPCがネットワークにて接続状態であれば、PC上でDVR内の録画映像を検索し、再生することができます。

クライアントソフトの上部、
「リモート検索」をクリック
してください。

「SEARCH画面」が表示されます。
基本操作は、直接操作での検索と同様です。



日付/時間検索

再生したい映像の開始時間と、
終了時間を指定します。
年/月/日の数字は、
マウスポインターで左クリックして、
表示された数字一覧から選択します。
時/分/秒は表示されたバーで
設定します。

右下の「再生」ボタンを押すと
再生を開始します。



表示したいカメラも選択できます。
停止や早送りは、画面下部の「操作バー」で行います。

イベント検索

各種イベントで作成されたデータ
がリストとなって表示されます。

再生したいデータを左クリックで指定
します。
画面右下の「再生」をクリックすると、
再生を開始します。

「停止」をクリックして再生を止め、
左クリックで検索画面に戻ります。



カレンダー検索

録画データのある日時をカレンダーから検索し、再生します。

画面上のカレンダーには
データのある日は「青」で、
データの無い日は「白」で、
表示されます。

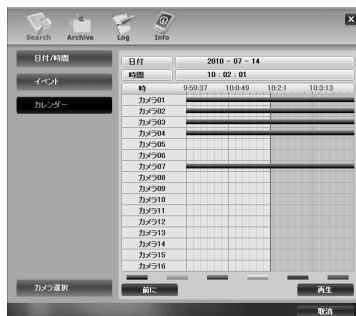
「青」い日を選択すると、次に
開始時間を指定できます。



チャンネルの横に伸びたバーが、
データ領域です。
このバー上に、左側0時の位置にある
「赤い縦線」を右に移動させ、
開始位置を指定します。

その後、右下の「再生」を押して
ください。

マウス操作で再生したいエリアを
左クリックを押しながら選択すると、
分/秒まで細かく表示され、再生できます。



※画面上部の「日付」「時間」項目
に数字を入力すると、「時/分/秒」
まで指定して再生ができます。

設定を間違えた場合は、左下の「前へ」ボタンで戻ります。
再生をしてしまった場合は、「SEARCHボタン」で検索画面に戻ります。

チャンネル設定

検索して再生するチャンネルを
「オン/オフ」で指定できます。

※この設定は再生の度に設定できます。



Archive (データバックアップ)

DVR内に保存された録画データを、ネットワークを経由してPC内に保存します。

「検索・再生」と同様の操作でデータを検索し、保存できます。

※PC内に保存された録画データは、クライアントソフトの「ローカル検索(P)」で再生できます。

クライアントソフトがインストールされていないPCでは、再生できません。

各種検索でバックアップするデータの範囲を決定します。

検索方法は、再生データを検索する操作と同様です。

※カレンダー検索のみ操作が変わりますので、別項目を参照してください。

データを検索し終わったら、画面下部の「計算」でデータ自体の容量計算をしてください。

※容量を算出をしないと、バックアップはできません。
※容量オーバーの表示が出る場合があります。再度計算してください。

容量確認できたら、右下の「複写保存」を押しバックアップを開始してください。



保存進行状況はバー表示される数字で確認できます。



※注意

この間は、DVRの電源やネットワークを切断しないでください。
途中で切断した場合、バックアップデータは進行途中であっても保存されません。

バックアップデータの保存場所は、「C:\¥H264¥Download」内です。

これはインストール時に自動作成された場所です。

※「TOP画面」「セーブボタン」で静止画を保存した場所と同じフォルダ内の、「Download」という名称のファイルに保存されます。

カレンダー検索画面

カレンダー検索によるバックアップ
※操作は検索と同様です。

バックアップを開始する「日」を
指定します。

次に「時」を指定します。
※画面下部の色の説明は、
マウスポインタを重ると
表示されます。

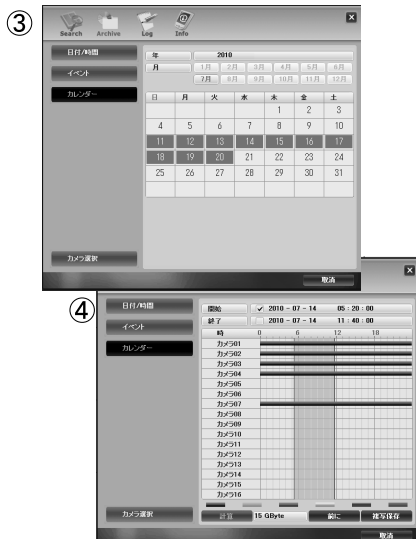
画面左側（0時）にある縦の赤線を
左へ移動させ、開始時間を指定します。
「青」く選択されたエリアが、バックアップ
対象となります。

「次へ」を押し、バックアップ
を終了する日（③画面へ移動）
を指定します。

「日」を選択し、次に「時」選択画面
（④画面）へ移動します。

この画面は上記②と違い、
画面右側（24時）に紫線があります。
この線を左へ移動させ、
バックアップ終了時を指定します。

青く指定された範囲がバックアップ
されます。
「計算」を押して、「複写保存」を
実行します。



遠隔ログ

DVRの操作履歴（ログ）をPC上で閲覧できます。

ログリストは直接操作の内容と同じです。



システム情報

システム情報では、マックアドレス/ID/バージョン情報を見ることが出来ます。

状態情報ではHDDディスク容量と記録モードを表示します。



リモート設定

DVRとPCがネットワーク接続となった状態であれば、PC上でDVR内の各種設定を変更することができます。

クライアントソフトの上部、「リモート設定」を押してください。

※基本操作は、直接DVRで行う
設定変更と同じです。



カメラ設定

各カメラ毎に
色調/彩度/明暗/照度を、
「1～100」の数値で設定できます。
マウスを左クリックし、バーを左右に
操作して、数値を決定してください。



カメラ非表示

カメラ非表示をカメラ毎に設定できます。
「オン(非表示)/オフ(表示)」
をクリックで指定してください。
※全て表示する場合は、
全てオフを指定してください。
※カメラ非表示中はモニターに表示
されませんが、録画は続きます。



カメラ名

30字までのカメラ名が入力できます。
全角英数字のみ入力できます。

例：MEETING ROOM 1



スポット設定

分割表示

「1/4/9/16分割」表示切替の
「オン/オフ」が設定できます。
また、「1/4/9分割」の持続時間も
設定できます。

モーションイベント

モーション感知をしたカメラの
映像を、モニターにポップアップ
して表示します。
分割表示中に、そのカメラ映像が
1画面表示されるようにするための設定です。



OSD表示設定

画面上に表示されるOSD表示の設定
ができます。

状態バーの表示時間
「5秒/10秒/常時/オフ」

イベント/カメラ名称の表示
「オン/オフ」

PTZディスプレイの表示時間
「5秒/10秒/常時/オフ」

メニュー/パスワードエントリーの表示時間
「1分/5分」

混合設定（状態バーの半透明濃度）
「0～6の7段階」



イベント

イベントが発生した際の表示について設定します。

メール登録

各種イベント発生時に通知メールを
発信します。
送信先メールアドレスは、3件まで登録
できます。
送信周期は、「毎回/毎日/毎週」
に設定できます。



メール伝送

ビーブ音出力

アラーム出力

「メール/ビーブ音/アラーム音」は、
上記3つの画面にてそれぞれ発信される
イベントを設定できます。



「ビデオロス/アラームイベント/
モーションイベント/電源ロス
スマート」
から複数選べます。



また、「ビーブ音/アラーム音」の
発信持続時間を「Continue(お7) /
1 秒～999秒」まで設定できます。

録画

録画に関する録画フレームレートや設定をPC上で行えます。

基本

HDD上書き

自動上書きの「オン/オフ」が選択できます。

ポスト録画時間

イベント発生後のポスト録画時間を「0秒～240秒」に設定できます。

画質

「低/中/高」に設定出来ます。
全録画状態に設定が反映されます。

オーディオ

音声録画をするチャンネルの設定ができます。

プライバシー地帯

各カメラのプライバシー表示エリアを設定できます。マスをクリックし、エリアを反転させてください。

設定されたエリアは、録画再生時に黒く表示されます。
※ライブ映像には表示されません。
※設定は「88×60」のマス目から設定できます。



各種録画設定

連続録画/アラーム録画/モーション録画/スケジュール録画の各録画モード毎に、録画フレームレートを設定できます。

モーション録画設定では、モーション感度の設定もできます。
基本操作は、DVRを直接操作設定する場合と同様です。

※アラーム録画設定画面では、プリセットカメラの設定ができます。

※モーション録画、スケジュール録画のみ、クライアントソフト用の操作画面があります。次ページ(P26)にて説明いたします。

クライアントソフト専用画面の操作

モーション録画設定画面内の エリア設定画面

升目は「10×8」表示です。

マスをクリックして領域を
指定してください。
「黄」表示から反転したマス目
が認識されない領域となります。



スケジュール録画設定画面内の スケジュール指定画面

横軸が曜日、縦軸が時間を
表示します。

升目をクリックすると、
「赤い点」が表示されます。
この点をつけた曜日/時間が、
スケジュール録画を行う日と
なります。
この設定は全カメラに
反映されます。



時間経過

解像度/録画日数などを指定して、
残りのHDD容量で録画可能な
フレーム数 (FPS) を自動計算し、
設定します。



録画優先順位

優先される録画モードの順番を設定します。
DVRの設定の操作と同様です。

システム

システムに関する設定を行えます。DVR操作と同様です。

基本

言語、日付表示形式などを設定
できます。
DVRの操作と同様です。



アカウント

1人の管理者と4人のユーザーを
設定出来ます。
また、各ユーザー毎の操作権限も
制限することができます。



センサー

センサー入力信号の種類を
変更できます。
「N.C. (ノーマルクローズ)」
「N.O. (ノーマルオープン)」
「なし」から選択できます。



システム

システムに関する設定を行えます。DVR操作と同様です。

基本

言語、日付表示形式などを設定
できます。
DVRの操作と同様です。



アカウント

1人の管理者と4人のユーザーを
設定出来ます。
また、各ユーザー毎の操作権限も
制限することができます。



センサー

センサー入力信号の種類を
変更できます。
「N.C. (ノーマルクローズ)」
「N.O. (ノーマルオープン)」
「なし」から選択できます。



PTZ設定/コントローラー

PTZコントローラーは、リモート設定の場合は「QSC-1000」のみ支援可能です。
「ID」はカメラ側IDNo.に設定してください。
初期値：プロトコル-PelcoD
通信レート-2400bps



サマータイム設定

夏時間設定は、「オフ/各国設定/使用者設定」から設定ができます。
使用者設定では、数値を指定しての設定ができます。



グローバル時間設定

DVRの現地時間を、インターネット上より自動的に取得させることができます。
基準値「TIME.BORA.NET」
国内推奨「NTP.NICT.JP」へ変更。

「都市」を指定すると、DVRの現地時間は指定した都市の設定になります。



スマート

DVRが高温状態になる前に、注意を発信します。
スマートを「オン」に設定し、温度を「45℃」に指定します。
注意表示のメッセージの表示も、「オン/オフ」設定できます。
※50℃近くで、DVRに負荷がかかり始めます。
高温状態での使用は避けてください。



ETS

設定では、その他マウス音などの機能が設定できます。

ローカル設定

クライアントソフトのオプションが設定できます。
画面上部のアイコンをクリックしてください。



基本設定

出力モード：YUV(固定) 設定不要です。

日付表示形式：
「年月日/日月年/月日年」の順を指定できます。

画像保存形式：
(P12)バックアップファイルの保存拡張子を、
「JPEG/TIF/BMP」から指定できます。



Hours

時刻表示を、「12時間表示(AM/PM表示)」「24時間表示」に設定できます。
「12-Hours」/「24-Hours」のどちらかに選択してください。

保存位置：

バックアップファイルを保存する場所を変更できます。

例：「C:\¥H264¥Download」

※インストール時に設定した場所が
入力されています。

不透明

OSD表示と関連して、
画面上の各表示の不透明度が設定
できます。
「100～255」で設定できます。



オーディオバッファ

ネットワークを通じて伝送される
オーディオデータの速度を調整できます。
※設定のためには、オーディオ機能を「オフ」
にしてから行ってください。



非インタレース

走査線についての設定を行います。
設定方法は、直接操作と同様です。

パン/チルト/ズーム/フォーカス

PC上のクライアントプログラムで、PTZカメラのリモート操作ができます。
画面上のアイコンをクリックしてください。

対応カメラ

弊社製品 NS-901PRC



パン/チルト



ズーム/フォーカス



画面上部の各ボタンをクリック
するとPTZカメラの
「操作メニュー」が表示されます。

また画面右下の「操作メニュー」
の中心をクリックすると、
「プリセット制御メニュー」
が表示されます。



「操作メニュー」

カメラの上下左右移動及び
ズームを操作します。

「プリセット制御メニュー」

プリセット機能の呼出、
及び設定を行います。

カメラ操作

パン(カメラを左右に振る)、
チルト(カメラを上下に振る)操作や、
拡大縮小の操作方法を説明します。



・パン/チルト

画面上部のアイコンの、「パン/チルト」ボタンを押すか、
操作メニューの「パン/チルト切替」ボタンを押します。
移動させたい方向への矢印をクリックし、押し続けると、その方向へ
カメラレンズが移動します。

※移動速度の設定などは、カメラ本体にて直接行うことが必要となります。

・ズーム/フォーカス

画面上部のアイコンの、「ズーム/フォーカス」ボタンを押すか、
操作メニューの「ズーム操作」ボタンを押します。
上下ボタンでズーム操作を行い、左右ボタンでフォーカスを設定します。

プリセット操作

操作メニュー画面は、
P27の操作と同様です。

この操作での設定は、
レコーダーを経由してカメラ
自体に直接保存されます。

カメラ自体の操作方法は、
カメラ側の説明書を参照してください。

※対応カメラ

弊社プリセットカメラ NS-901PRC を使用
他社製品の使用の場合は、弊社までお問い合わせください。
適合しない製品もございます。

※遠隔操作の場合は、プリセット定位置の設定、及び呼出しのみが操作できます。

プリセット位置への移動

- ・「プリセット制御メニュー」の「プリセット」をクリックし、
「コール」をクリックします。
- ・カメラ位置のナンバーを指定します（001～255）
※ナンバーは、カメラに位置を記憶させた時のナンバーを入力します。
「ナンバー1」のカメラ位置は、「001」と入力します。
- ・「OK」を押すと、記憶させたカメラ位置へ移動します。

プリセット位置の記憶

- ・「プリセット」→「セット」をクリック、記憶させるナンバーを指定します。
- ・その後、記憶させたい位置にカメラを移動させます。
- ・「OK」を押すと、その位置にナンバーが付随され、保存されます。

※一度設定したナンバーへの上書きも可能です。

既に保存されたナンバーを入力して、位置の記憶を行うと、
「OK」の後に、「OVERWRITE?」とメッセージが表示されます。
「YES: ENT～」 「NO: CLR～」の二つの表示がされますので、
「ドメインメニュー」を押し表示された「DOMEメニュー」の「エンターボタン(矢印)」
を押します。「WRITING OK」の表示が現れれば、上書き完了です。

カメラ設定は、「ドメインメニュー」を操作し、カメラ側の説明書を参照してください。
また、ドメインメニュー内の設定は、カメラ側の説明書を参照してください。



設定メモ：

IPアドレス：

DDNSドメイン：

DVRポート：

WEBポート：

備考：

